

梵珠ガイド会通信

2026 - 01 号
2026年 3月 6日
自然ふれあい
ボランティアガイド会

■ ハッピー！ カモシカ3頭と出会う ～カモシカ調査～



◆ 藤曲の個体



◆ メンジャ沢の梵太くん

3月1日、センター主催「梵珠アニマルトラッキング」が開催され、同日、ガイド会の横山さんと米谷さんがセンター主催「硬雪トレッキング」の下見を兼ね、坊主ヶ平経由藤曲までカモシカ調査を実施しました。

今回は2班で1日にのべ3頭のカモシカに出会うことができました。ここ数年はなかなか出会うことがなく、参加者は感激していました。

梵珠アニマルトラッキングには2名のガイドが同行し、マンガンの道から竜巻沢へのコース。1頭目はブナ平手前のメンジャ沢で、女性参加者は「可愛い・可愛い」と言いながら撮影していました。15分もカモシカが動かず、あたかも人間を観察しているかのようでした。2頭目は、竜巻沢で確認できました。

坊主ヶ平経由藤曲コースでは、藤曲で1頭を確認できました。途中、連日の暖気で雪解けも急激に進み、杉林では突風によるものか杉が数本倒れていました。梵珠には少なくともカモシカは3頭以上棲んでいることとなります。



◆ 進む根開き



◆ 倒伏した杉



◆ 藤曲の鉄塔下にて

■ ガイド会定例総会



◆総会の様子

2月28日、自然ふれあいセンターに於いて当会の定例総会を開催し、原案通り可決承認されました。会員13名（16名中）が参加し、来賓として県自然保護課遠藤課長代理の他、村松館長に参列していただきました。

さて、当ガイド会は平成10年11月に設立して以来、27年を迎えます。その頃は小・中学生の登山ガイドが主な活動でしたが、その後、徐々に減少して昨年は梵珠山頂往復1校、少年自然の家までの縦走が1校、青森市移住者交流会梵珠山登山ガイドが1件となりました。今ではセンター主催の行事の講師または

サポートとしての活動が多くなっています。

昨年は、猛暑やクマ騒動で大変でした。今年もクマに遭わないようクマ鈴やクマスプレーを携帯し、安全にガイドしたいものです。

今年の活動としては、例年我々が受講しています県自然保護課主催のボランティアガイド委嘱状交付式及び研修会が、白神山地ガイド養成研修（県自然保護課主催 年数回開催予定）の1日を当て開催とのことです。詳細については4月以降になります。

また、ガイド会会員研修を6月27日（土）、深浦町行合崎自然観察会を予定しています。秋には五所川原市飯詰山国有林にある坪毛沢ヒバ木製えん堤の現地見学を計画しました。林野庁は「後世に伝えるべき治山～よみがえる緑～」として全国60カ所の治山事業地を選定し、その1つが坪毛沢ヒバ木製えん堤です。

坪毛沢流域においては大正5年から昭和33年までの間、ヒバ材を利用した木製のえん堤を施工し、施工後約70年～100年経過した現在でもその機能を果たしているとのことです。

役員会の席上、日下さんの提案で現地研修することとなりました。

詳細については後日、連絡します。

乞うご期待！！



◆4号堰堤(昭和29年施工)

■ ガイド会活動日誌

月 日	活 動 内 容	担当ガイド
1月11日	センター主催新春梵珠登山	鈴木・葛西
2月14日	ガイド会役員会	4名参加
2月23日	センター主催少年自然体験隊（冬）in 梵珠山	講師：木村
2月28日	ガイド会定例総会	13名参加
3月1日	カモシカ調査	横山・米谷・神・鈴木

